



(シンボルマーク)

平成26年  
第20号

3 / 15

# あくしゅ

〈発行・編集〉




座間市男女共同参画推進委員会  
座間市民部広報広聴人権課  
〒252-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘1-1-1  
☎046 (252) 8087 (直) ☎046 (252) 0220

再生紙を使用しています。

## 現代の若い世代が感じている 「男女共同参画」とは…??

### 謎? 解きは座談会のあとで

#### 戦後の中等家庭科教育の歴史

形態	男女共修	男女別修	男女共修
年代	1947年(S22) ～ 1958年(S33)	1958年(S33) ～ 1993年(H5)	1993年(H5) ～ 2013年(H25)
期間	11 年間	35 年間	20 年間
世代層	 (70～81歳)	 (35～70歳)	 (～35歳)
社会的背景	・民主主義社会の形成 ・新学制発足	・高度経済成長期 ・男は仕事、女は家庭 ・男子厨房に入らなからず	・男女共同参画社会 ・男女混合名簿 ・女性の社会進出

- 戦後の中等家庭科教育の歴史 …………… (1面)
- 高校生による座談会「自分らしい生き方とは?」 …………… (2・3面)
- こ～ひ～ぶれいく …………… (4面)
- 活動報告 …………… (4面)
- あくしゅフォーラム …………… (4面)
- お知らせ …………… (4面)

#### 男女共同参画社会とは?

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。  
(男女共同参画社会基本法第2条)

社会的背景や学校の教育観の変化が、中等家庭科教育の授業形態を変えてきました。現在、社会の中核を担う世代では、男子は木工・金工、女子は調理・裁縫を習う時代が35年間続きました。「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業の考え方の社会でした。若い世代は男女共修20年間がすぎ、今では男女一緒に調理・裁縫、さらに保育や介護まで習うようになりました。

その若い世代は、実際の生活の中で男女共同参画社会をどのように捉えているのでしょうか。今回、市内にある県立高等学校3校男女6名による座談会を開きました。そこで浮き彫りにされたことは何か? 次のページをお読みください。

### 市内3校の高校生による座談会

参加者 座間高等学校

(後列左より) 佐藤弘拓さん  
瀬田大さん、百瀬つかささん

座間総合高等学校

(前列左より) 佐々木郁哉さん  
大木摩耶さん

相模向陽館高等学校

(前列右) 福土莉奈さん



では早速  
座談会の内容をCHECK!  
(2・3面へ)

# 「自分らしく生きる」



## では?

平成二十五年十一月十六日にサ  
ニープレイス座間(座間総合福祉セ  
ンター)にて行われました座談会の  
概要を紹介します。

**Q 「男らしく・女らしく」は  
どんな時に言われますか?**

佐藤…お店などでメニューで迷ってい  
る時に、「男なんだからサツサと  
決めなさい」と言われます。

瀬田…諦めきれない時に「男らしくスッ  
パリ諦めなさい」と言われます。

百瀬…部屋が汚いと「女の子なんだか  
らきれいに片付けなさい」とよく  
言われます。

佐々木…最近あまり言われな  
いですが、大木…「女の子だから料理もつと  
やりなさい」とか「お弁当とかも  
そろそろ自分で作ったら」とかよ  
く言われます。

福士…私不器用で、家庭科の裁縫の授  
業で「女の子なのに汚いなあ、が  
さつだなあ」と言われてしまっ  
て、女子イコール器用みたいな感  
じました。

**Q 異性のめんどくさいところはありますか?**

大木…羨ましい所は別にありません。

福士…女子ってたまにちょっとこじれ  
ちゃうと怖い時があって、そうい  
う時には男子を羨ましいと思いま  
す。

男子はそうめんはなごじやな?

佐藤…瀬田…謝ってごめん  
で終わります。

百瀬…最近はありませんが、中学の体  
育の授業で女子はダンス、男子は  
柔道に分けられていて、私はダ  
ンスが得意ではないので、柔道が  
羨ましかったです。

佐藤…中学の時に体育祭の創作ダンス  
が楽しかったので、高校もやりた  
かったのですが、女子生徒が圧倒  
的に多く男子が全くいないんで  
す。さすがにそれはきついんで

男子の方に、女子に対して羨ましいと  
思うことはないですか?

佐藤…瀬田…レディースは羨まし  
いです。

佐々木…レディースなどは女性に  
対して特権のようなものを感じま  
す。男子バージョンがあったら是非  
利用したいです。

**Q 高校生活で男女の差を  
感じたことはありますか?**

百瀬…あんまりありません。あるとす  
れば運動における体力の差としか  
思い浮かばないです。私が入って  
る部活(水泳部)は男女混合なの  
ですが女子は私一人で。冬に走っ  
てる時についていけなくて男女の



差を感じます。扱いなどについて  
はありません。生まれ持ったもの  
なのでしょうがないと思っていま  
す。

瀬田…基本的には男女仲が良いので感  
じないのですが、サイエンスは女  
子が少ないなと思った事がありま  
す。僕の偏見かも知れませんが、  
女子は文系、男子は理系を選ぶ方  
が多いかなと思います。

佐藤…以前部活の顧問から(男性でい  
い人だったが)女子の荷物を持つ  
てあげるとか、絶対優しくしろと  
言われました。やるのはいいので  
すが、さすがにここまでやらなく  
てもいいんじゃないのってところ  
はありました。

佐々木…テスト前などでは、クラス内  
で協力できているので、特に感じ  
ません。

大木…女子同士で教えたり聞いたりし  
てます。

福士…普段はあまりないのですが、文  
化祭とか男子が大きい荷物や重た  
い荷物を持っていると、やっぱり  
違うなと思います。力強さを感じ  
ます。

**Q 学校の授業で男女共同参画について  
教わっているところはありますか?**

佐々木…中学では平等にしようみたい  
な、食事を作るから君たちも協力  
しなみたいな事、教わった記憶が  
ありません。保健体育でやりました。  
大木…中学の現代社会で何となくやっ  
た感じですか。

福士…高校の「すこやか」という授業  
でやりました。自分の事を知った  
り、自分と相手はどのように違う  
のかとか、自分の欲求を確かめた  
りとか。

佐藤…中学で社会の授業や受験勉強で  
やったりとか。実は受験勉強で  
ワードとして覚えていますが、詳  
しくはわかりません。

瀬田…高校一年の時、保健の授業で男  
女の性差を学びました。福士さん  
が教わった「すこやか」の様なか  
とをやりました。

習った時どう思いましたか?

瀬田…中学の頃、こういう法「男女共  
同参画基本法」を作らなければい

けないという事自体が、もはや男女差別の象徴なのではないかなと。もともと作らなくてもできるようならなければいけないのではないかと。当時の僕の思いです。

百瀬…私も、中学の時ちょっと近代社会の勉強でやってたなと思うのですが、それまでが男尊女卑というのがあるじゃないですか。だから当然の流れかなと思いつながら、その時はさらっと受け流したんですけど、今考えたら、瀬田さんがいた通りそんな社会があったんだなあとと思うと、現代っ子からすれば不思議な感じがします。

## Q「イメージいいのは男の仕事、これは女の仕事だと感じる職種ありますか？」

佐藤…看護師とかは女の人が多いというイメージがあります、男の人は建築とか。

瀬田…佐藤君の言ったように看護師は、看護師と言う言葉があったぐらいなのでイメージが抜けない部分があります。

百瀬…図書館で司書として働いている人に男の人は見かけない気がしますが、重い本を運んだり、身長もあって、男の人のほうが向いていたりするんじゃないかと思うんですが。

佐々木…保育園の先生とかは女の人が多いようなイメージです。女性は細かいところをやってくれるから保育園の先生とかやって、男は力仕事の方を優先したほうがいいん

じゃないかって思ってそういう風になっていくんじゃないかと思えます。

大木…確かに男の人は力仕事ですね。

大工さんや工事現場の人とかバリバリ働いている感じがします。女の人は受付のところとか座っているイメージが多いです。医療事務や図書館などでも座っているイメージが多いです。

福士…女性は看護師とか人を癒すイメージ。  
男の人は力仕事で任せとけ〜的な感じのイメージがあります。



## 〜将来は何がやりたいか決まっていますか？

百瀬…理学療法士になりたいと思っています。女の人も多いので男女に関係なくできる仕事なんだなと思っています。

佐藤…学校の先生です。

瀬田…僕としては数学、物理、化学、情報の教師になれたらなあと思っています。

佐々木…想像したものを映像とかにしたいなあと思っています。CGとかやってみみたいです。

大木…ぜんぜん決まっていないです。

福士…決まっていはいないですが、今のうちにちょっとずつ試してみたいかなと思いました。

## Q「自分らしい生き方」として考えている事はありますか？

佐藤…「誰にでもやさしく」は自分のモットーです。結婚して子どもが出来た時にそれを伝えていけたらなあ、と思っています。

瀬田…現代の社会ではまだ男らしさ、女らしさとはあるとは思いますが、二つの要素でくっつけてしまったら個性が二つしかないことになってしまいます。でも、自分らしさという点で考えれば個性は無限大だと思います。男、女よりもその人個人をみれるようになっていきたいと思います。

百瀬…自分らしい生き方って難しいとは思いますが、好きなことを職業にしているんな世界を見てみたいと思っています。

佐々木…男とか女とかにとらわれずに

他の人と支え合ったりしていきけるようにしたいと思っています。  
大木…自分の思っている通りに人に流されずに過ごしていくのが自分ら

しい生き方だと思えますけど、私に流されやすいほうなんで…それも自分らしい生き方なのかなあと思ってます。

福士…自分らしいっていうか、私好きなことが全然無いので、まずは好きなことを見つけていう目標を立ててそれに没頭し、それで十年後とかも生き生きとした楽しい人生を送れたらいいなと思います。

## 座談会を終えて

座談会では、高校生たちが伸び伸びと意見を述べてくれました。体力の差や進路では幾分男女の違いを感じているものの、色々な科目で男女共同参画を学習していることもあり「男女平等の流れは当然」というように、意識のレベルでは従来の男女の固定的なイメージは少ないようです。

しかし、実社会では女性の家事・育児負担は相変わらず重く、職場での男女差別も解消されていないことがまだ多いため、男女共同参画社会の形成は道半ばという所です。このままでは、男女共修世代が社会に出た時に、性別役割分業を前提とした従来型システムへの適応に苦しむことが危惧されます。

学校で男女平等であること、男女共同参画社会があるべき社会と習ってきている若い世代が、社会の中核を担う頃には、一人一人が自分らしい生き方を主張し、実行できる社会になっていることが望まれます。そのためには、社会の中核を担っている世代が自ら男

# 活動報告

# 平成25年度

6月22日(土)

『あくしゅフォーラム』の開催

市民文化会館(ハーモニーホール座間)大ホール

講演『もっとやさしく、もっと自由に

～共に生きる社会をめざして～』

講師 香山リカさん(精神科医・立教大学教授)

6月23日(日)～29日(土)

『男女共同参画週間』

市民サロンに特設啓発ブースを設置し、男女共同参画の意義や考え方を紹介

11月4日(月)

座間市民ふるさとまつりで、男女共同参画に関する市民の皆さんへの意識啓発

平成26年3月

情報紙『あくしゅ』の発行

企画・編集は平成25年夏ごろから随時



女共同参画社会を形成する努力をさらに重ねていくことが必要です。最後に、この座談会への参加を快く引き受けてくださった各学校の校長先生はじめ教職員の方々、生徒の皆さんに心からお礼を申し上げます。

## 第11回 あくしゅフォーラム

### 開催報告



講師:

香山リカさん

(精神科医・立教大学教授)

昨年開催された「第11回あくしゅフォーラム」に、講師としてお招きしました香山リカさん。当日は参加された皆さんから大変好評いただきました。ここでは当日の講演会の概略をお伝えします。

「昨今は景気が良くないためか、不安で人を信用できなくて、心がすり減ってしまいます。それを防ぐには、自分に厳しくしすぎずに頑張っているところがいいところを認めてあげることが必要です。どんな立場の人にも自分なりの迷いや問題があつて、本当の意味で何も不満や問題がない人はいません。格好をつけずに弱みを見せて、力を貸してと言うことを情けないとか恥ずかしいと思わないことも、生きのびるための一つの知恵です。失敗や後悔、やり残したことであまりよくよくなるのはよしませう。そういったことが私たちを豊かな自分らしい人間にしてくれるのです。自分の歩いてきた人生を十分に慈しんで労うためには、本当の意味で休むことが必要です。一週間か二週間に一日何もしないグズグズ、ゴロゴロする日を無理にでもつくり、自分の心の健康を守りましょう。男や女だからとか年齢に関係なく、お互いに知恵と経験と元気を出して支え合い、自分らしさを出して認め合い、知恵を合わせてみんなでこのような時代を乗り切っていきましょう」

情報紙「あくしゅ」のバックナンバーはこちらから!  
(PDFでご覧いただけます)



様々な相談・支援窓口の紹介「あくしゅインフォメーション」はこちらから!

※QRコードが使用できない方は、座間市ホームページ「トップページ」→「市政情報」→「人権・男女共同参画」からでもアクセスできます。

「聞く力」  
(心ひろく35のヒント)  
阿川 佐和子  
文春新書  
こんな一節があつた。城山三郎さんと初対面のインタビュー後、編集長が悲しそうに「今日はアガワさん、一人で喋っていましたね」  
なぜ私は、城山さんの前であんなにべらべら喋り続けてしまったのか城山さんのどろどろが聞き上手なのだろう。ただひたすら「そこ」「それで?」「面白いねえ」「どうして?」とほんの一言をはさむだけで、あとは「」「」楽しんで聞くに聞き続けて下さった。「そうか!」聞き上手というのは「この人に語りた」と思ふような聞き手になればいい。そんな聞き手になろう...  
人との会話の中での清涼剤になりそう読んでみました。